



東北大学

平成29年1月13日

報道機関 各位

東北大学大学院教育学研究科

シンポジウム「東日本大震災後の子ども支援」開催案内 ～岩手・宮城・福島の6年間～

東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室“S-チル”では、このたび第8回シンポジウム「東日本大震災後の子ども支援」～岩手・宮城・福島の6年間～を下記のとおり開催いたします。

東日本大震災から6年を迎えての開催となる今回は、岩手・宮城・福島において被災された子どもたちやその保護者の支援に携わってきた支援者の方々の報告をもとに、今後の展望等について議論を行う予定です。

つきましては市民の皆様幅広く周知していただくとともに、当日はご取材の上、紙面、番組等でご紹介くださいますようお願いいたします。

記

1. 日時及び場所

日時 平成29年2月18日(土) 13時30分～16時(受付開始13時)

場所 東北大学文科系総合研究棟11階大会議室(仙台市青葉区川内)

2. 主催

東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室“S-チル”

3. シンポジスト

宮城から 星 美保 氏(宮城県スクールカウンセラー)

福島から 中鉢 博之 氏(特定非営利活動法人ビーンズふくしま 常務理事)

岩手から 土屋 文彦 氏(臨床心理士)

4. 概要

東日本大震災から今日までの6年間、岩手・宮城・福島において被災された子どもたちやその保護者の支援に携わってきた支援者の方々の報告をもとに、今後の展望について議論をいたします。

5. 対象者

テーマに関心のある方はどなたでも

6. 参加、取材申込方法

震災子ども支援室まで FAX(022-795-3263) かメール(s.children@sed.tohoku.ac.jp)で御連絡下さい。参加無料です。

7. お問い合わせ先

東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室“S-チル”

TEL&FAX: 022-795-3263

URL: <http://www.sed.tohoku.ac.jp/~s-children/>

以上

“東日本大震災後の子ども支援”

～岩手・宮城・福島の6年間～

東日本大震災から6年を迎えます。岩手・宮城・福島において被災された子ども達やその保護者の支援に携わってきた、支援者の方々の報告をもとに、今後の展望について議論をいたします。□

・宮城から

「被災地の日常と学校教育相談活動」

～被災地内支援者から見えてくるもの～

宮城県スクールカウンセラー 星 美保 氏

・福島から

「東日本大震災・原発事故と福島の子ども」

～長期避難とその影響について～

特定非営利活動法人ビーンズふくしま 常務理事 中鉢 博之 氏

・岩手から

「5年間の相談支援活動をふりかえる」

～大槌町子育て支援センターでの取組みを中心に～

臨床心理士 土屋 文彦 氏

・質疑応答

・日 時 2017年2月18日(土) 13:30～16:00

・会 場 東北大学文科系総合研究棟 11階大会議室

・参加者 テーマに関心のある方はどなたでも

・参加費 無料

・定 員 100名(定員になり次第締め切り)

・申込方法 電話・FAX・E-mailでお申し込みください

・問合せ先: 東北大学大学院教育学研究科

震災子ども支援室 **“S-チル”**

Tel&Fax 022-795-3263

E-mail: s.children@sed.tohoku.ac.jp

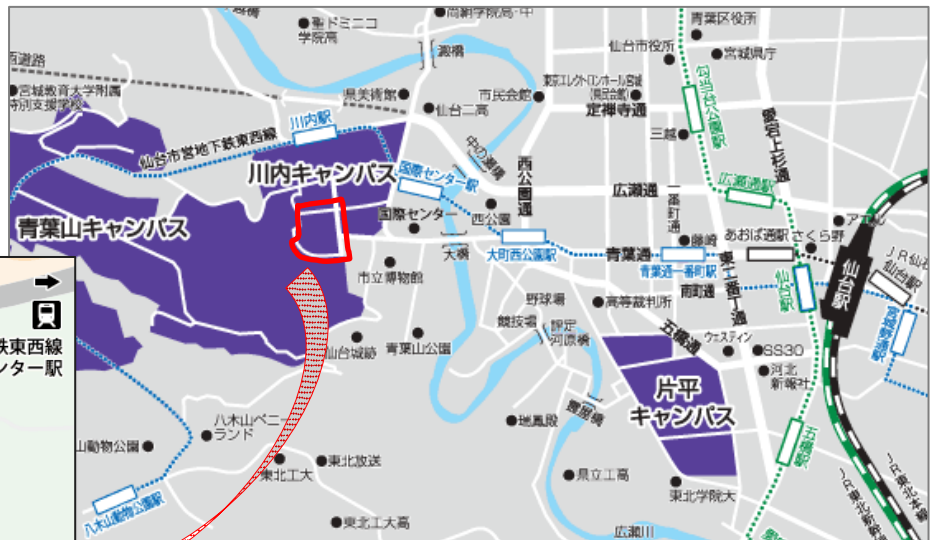


参加申込書

【メールアドレス】 s.children@sed.tohoku.ac.jp / 【Faxでお申し込みの場合】 022-795-3263

フリガナ			ご所属先(職場,学生等)
お名前		男・女	
フリガナ			ご所属先(職場,学生等)
お名前		男・女	
住所	〒		
ご連絡先	TEL		
	Fax		
備考			

仙台駅からの広域地図



川内南キャンパス 詳細地図



◆会場までのアクセス方法

- ・ 自家用車でお越しの際は、大学敷地内の駐車場をご利用ください（左記地図の、青枠斜線内のエリア）
- ・ 公共交通機関は、仙台市営地下鉄「東西線」が便利です
 ☞ 「国際センター駅」下車・「西1口」から徒歩10分
 ☞ 駅から会場の南キャンパスエリアまでは坂道で、少々歩きますので、お時間には余裕をもってお越しください